

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成25年度高松第一高等学校改築基本構想検討懇話会（第5回）
開催日時	平成26年2月12日（水） 16時00分～17時00分
開催場所	高松第一高等学校 2階大会議室
議 題	(1) 会議記録確認 (2) 改築基本構想素案について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	池内委員，白石委員，多田野委員，橋本委員，福田委員，松本委員，若井委員
傍聴者	1人    （定員 5人）
担当課および 連絡先	高松第一高等学校 861-0244

### 会議の経過および結果

#### 開 会

#### (1) 会議記録確認

事務局        前回会議の会議記録の確認

#### (2) 改築基本構想素案について

事務局        前回会議以降の素案の変更箇所についての説明

〇〇委員        今後の会議のスケジュールはどのようになっているか。

事務局        本日は今年度最後の会議である。次回は5月中旬以降に開催する予定である。

〇〇委員        「校舎のデザインについては、特色あるものとする」とあるが、現在の校舎も特色あるデザインだと思う。一高OBの個人的な意見として、現施設の部分的なところでも残してほしい。卒業後、母校に訪れた時に当時の面影が全く残っていないのはさみしい。校舎が全面改修し、在校中に居た教師もいないのでは、母校でも行きたいとは思わない。

事務局        たとえば玄関先にあるソテツなどは残したいと考えている。

〇〇委員        気持ちは分からなくもない。しかし、現校舎は私が居た頃の面影はない。先進校視察で京都の堀川高校を見たが、一高も堀川高校のような最先端の施設にしてほしいという気持ちになった。

〇〇委員 今日、一高に来る際、正門を通り過ぎてしまった。門の正面に来て、はじめて一高と分かるという感じである。もう少し正門を主張した造りにしても良いと思う。また、コンセプトが良ければ、前施設のイメージが残らなくても気にならないと思う。

事務局 学校が分かりにくいのは、北側の道が狭いことも一因だと思う。通路の幅は今後拡がる予定である。

〇〇委員 他の学校はポールなどを立てたりしているのか。また、一高のシンボルカラーはあるのか。

事務局 丸亀高校の旧校舎は、トイレ部分の外壁を黄色に塗装していたが、改築後の校舎も一部を黄色に塗装し、以前の校舎のイメージを残している。

事務局 なんらかの形で、シンボリックなものと考えていく。

〇〇委員 今後の生徒数は、現在とあまり変わらないのか。

事務局 将来的には少子化の影響が出ると思われるが、平成40年ごろまでは減らない見込みなので、現在と同規模と考えている。

〇〇委員 8ページ中に、「進学校としての性格を保ちながら、演劇的手法を取り入れたカリキュラムの工夫等について、検討・・・」と記載されているが、進学校に関係なく、すべての高校生にコミュニケーション能力や合意形成・人間関係形成能力の向上は必要なことである。また、総合の時間等を利用して、演劇に関する講演や体験型授業を行うとあるが、この時間を一応設けただけでは不十分であり、真剣に取り組まなければ意味がないと思う。

事務局 「進学校としての・・・」という表現は、上段に記載があるので、ここの部分は削除しても良いかもしれない。

〇〇委員 一高の進学校の性格は今後も維持してほしいので、「進学校としての性格」と記載してくれたことについてはありがたい。

〇〇委員 進学校を表記することについては、今後、パブリックコメントを実施した際に、その他一般の市民からも、何らかの意見があると思う。

事務局 検討させていただく。

〇〇委員 8ページの表現は、全体的に進学校と演劇が対峙しているように感じる。特に、下から5行目特に「演劇に関する講演・・・」は違和感がある。「演劇を通して・・・」

の表現の方が良い。

〇〇委員 瀬戸内国際芸術祭の中で多くのワークショップが開かれていたが、それだけでは分かりにくい。その後の講演を聞いて理解できることもあった。

〇〇委員 中学校の現場の立場から言うと、香川県では公立高校と私立高校の両方に合格した際は、公立高校に進学するよう指導している。大都市圏では、私立の方が進学の実績がある。これは、香川県の公立高校は、私立高校に劣らず、しっかりと進路指導を行ってくれるということが背景にある。高松一高への進学面での期待は、中学の保護者にも大きい。当然、この部分は進学を意識した表現になると思う。コミュニケーション能力は必要であり、高校での人間教育は大事であるが、数時間程度の授業で、このような能力は身につかない。一高においても積極的に取り組んでいただきたいが、そのカリキュラムにどの程度の時間が取れるかが問題である。

〇〇委員 現在の運動場では、野球部は校外の練習場に通わなくてはならず、また、防災での避難場所になっていることもあるので、運動場はなるべく広く取った方が良い。

〇〇委員 「進学校としての性格・・・」の部分についてだが、進学校は一高が目指す高校ではあるが、対峙的な書き方はしない方が良い。文書の工夫で対応できると思う。

〇〇の講演に変えた方が良い。演劇がマイナスのイメージにならないように配慮してほしい。

事務局 素案は、今回の意見を基に修正を加えた後に政策会議に諮っていくが、今後、この素案が基礎となり、基本設計、実施設計につながっていく。多くの貴重な御意見を頂いたので参考にしていく。

(1) その他について

事務局 次回の会議まで少し間が空くので、5月中旬頃に日程調整する予定。

閉 会 (17:00)